

2023 年 3 月 16 日

各位

株式会社 コマース One ホールディングス
株式会社 フューチャーショップ

リアル回帰が自社 EC に与えた影響とは？ フューチャーショップ、自社 EC 利用実態調査レポートを発行。

～ 2022 年 1 月から 12 月の futureshop データを元に、自社 EC 利用状況をよみ解くレポートを無料公開 ～

株式会社コマース One ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡本 高彰、証券コード：4496）のグループ会社である、株式会社フューチャーショップ（本社：大阪市北区、代表取締役：星野 裕子）は、SaaS 型 EC サイト構築プラットフォーム「futureshop」「futureshop omni-channel」のデータから、2022 年の EC 利用状況をまとめたレポートを公開しました。



新型コロナウイルス流行を受け、EC 利用機会が増加した 2020 年、2021 年とは一転し、2022 年は街に人流が戻る「リアル回帰」が起きました。

3 月 21 日に行動制限がすべての地域で解除され、3 年ぶりに行動制限のないゴールデンウィーク、夏休みなどの大型連休を迎えるなど、外出機会が増加。実店舗への訪問機会も増加し、購買行動がさらに変化する兆しを見せつつあります。

以上の背景を踏まえ、自社 EC 利用にはどのような変化が出てきたのか。その実態を下記のキーワードからフューチャーショップで調査し、レポートとしてまとめました。

- 月別 EC 利用状況
- オムニチャンネル
- 自社 EC 顧客
- 業界
- デバイス

自社 EC 調査レポートダウンロードは、下記 URL から行っていただけます。

数字でよみ解く 2022 年の E コマース

- 自社 EC 利用実態調査レポート 2022 年 1 月～12 月

https://magazine.future-shop.jp/ec_2022

調査内容

月別 EC 利用状況調査

1. 月別 EC 利用状況

オムニチャンネル調査

2. futureshop omni-channel 導入ブランド数
3. futureshop omni-channel 導入効果（EC 利用観点）

自社 EC 顧客調査

4. 全稼動店舗の会員数
5. 外部 ID と連携した会員（のべ人数・12 月末時点）
6. 新規会員数（月別）
7. 会員全体の決済利用状況
8. 新規会員限定の決済利用状況

業界別調査

9. 業界別売上前年比
10. 業界別新型コロナウイルス流行前後の売上比

デバイス別調査

11. モバイル化率

会社概要

■ 株式会社フューチャーショップ

フューチャーショップが提供する futureshop (<https://www.future-shop.jp/>) シリーズは、未来に向けたコマース戦略を創造する SaaS 型 EC サイト構築プラットフォームです。

futureshop は CMS 機能「commerce creator (コマースクリエイター)」でデザインカスタマイズの高い自由度と更新性を実現しているほか、ロイヤルティマーケティングに取り組める豊富な機能を有しています。

オムニチャネル対応には実店舗と EC の顧客統合を行い、さらにきめ細やかなデジタルマーケティングを可能にします。O2O を実践するポイント統合、実店舗の在庫表示機能も備えた「futureshop omni-channel」をご利用いただけます。

また、プラットフォーム自体の機能が充実しているだけでなく、他システムとも多数連携し、柔軟性や拡張性にも優れています。“売上を創る E コマースプラットフォーム”を目指し、プロユースに応える高機能であることにこだわり、EC 事業者さまの「やりたいこと」にとことんお応えします。

代表者	代表取締役 星野 裕子
所在地	大阪府大阪市北区大深町 4 番 20 号グランフロント大阪 タワーA 24 階
設立	2010 年 3 月 (株式会社フューチャースピリッツより分社)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">電子商取引 (E コマース) 支援サービスの提供SaaS 型 EC サイト構築プラットフォーム「futureshop」企画・運営・開発
URL	https://www.future-shop.jp/

■ 株式会社コマース One ホールディングス

代表者	代表取締役 岡本 高彰
所在地	東京都千代田区九段北 4 丁目 2-1 市ヶ谷スクエアビル
設立	2006 年 8 月
URL	https://www.cm-one.jp/